

授業科目	乳児保育Ⅱ				単位	1		
履 修	選択	関連資格	保育士		ナンバリング	WE21622J		
開講年次	3	開講時期	前期	該当DP	DP2-1 DP2-2 DP3-2 DP5-2			
担当教員	田中 沙織							
授業概要	<p>乳児保育Ⅱでは、既習の乳児保育Ⅰとあわせて、保育士として乳児(0～2 歳児)を保育するうえで必要な基本的な考え方や援助の在り方を習得する。</p> <p>まず保育の普遍的理論と現代における乳児保育のニーズをとらえ、現代に即した保育のありようを考察、理解する。また、乳児保育の実際について、個々の発達を促す生活と遊びへの配慮、職員間の協働等を基に学ぶ。そして、3 歳未満児の生活や遊び と保育の方法及び環境を踏まえた乳児保育における計画の作成について理解する。</p> <p>さらに、3 歳未満児の発育・発達の過程や特性及び、養護及び教育の一体性を踏まえた援助や環境構成、関わりの基本的な考え方について理解し保育実践力をつけることを目指す。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>3歳未満児の発育・発達の過程や特性を踏まえ、援助や関わりの基本的な考え方や配慮の実際について理解することができる。</li> <li>養護及び教育の一体性を踏まえ、3歳未満児の子どもの生活や遊びと保育の方法及び環境について理解し、実際に行うことができる。</li> <li>乳児保育における計画を理解し具体的な計画を立てることができる。</li> </ol>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	10	20	20	20	30	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)				10			10	
思考・判断 (DP2-2)			10			10	20	
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)		10					10	
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)			10	10	20	20	60	
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
<ol style="list-style-type: none"> <li>3歳未満児の発育・発達の過程や特性を踏まえ、援助や関わりの基本的な考え方や配慮の実際について他者と意見を交わしながら、自分の考えを明確化させることができる。</li> <li>養護及び教育の一体性を踏まえて、3歳未満児の子どもの生活や遊びと保育の方法及び環境について理解し、技術を身につけることができる。</li> <li>乳児保育における計画を理解し配慮すべき事柄を押さえて具体的な計画を立てることができる。</li> </ol>				<ol style="list-style-type: none"> <li>3歳未満児の発育・発達の過程や特性を踏まえて、援助や関わりの基本的な考え方を表現できる。</li> <li>3歳未満児の子どもの生活や遊びと保育の方法及び環境について理解し技術を習得することができる。</li> <li>乳児保育における計画の基本的な考え方を理解することができる。</li> </ol>				
授業計画								

進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	テーマ:オリエンテーション、乳児保育の基本(田中沙織) 本講義の進行方法・内容・評価 乳児を育てること(グループワーク)	講義・演習	予:シラバストを読む 復:授業ノートの整理を行う	90
2	テーマ:乳児保育の基本(1)(田中沙織) 子どもと保育士等との関係の重要性(個々の子どもに応じた援助や受容的・応答的な関わり)	講義・演習	予:保育指針総則を読む 復:授業内容の重要箇所をまとめ知識・技能を定着しておく。	90
3	テーマ:乳児保育の基本(2)(田中沙織) 子どもの主体性の尊重と自己の育ち(子どもの体験と学びの芽生え)	講義・演習	予:次回のテーマに関するテキスト及び新聞・書籍等で授業内容に関する情報収集を行う。 復:授業内容の重要箇所をまとめ知識・技能を定着しておく。	90
4	テーマ:乳児保育の実際(田中沙織) 子どもの心身の健康・安全と情緒の安定を図るための配慮	講義・演習	予:次回のテーマに関するテキスト及び新聞・書籍等で授業内容に関する情報収集を行う。 復:授業内容の重要箇所をまとめ知識・技能を定着しておく。	90
5	テーマ:乳児保育の実際(田中沙織) 集団での生活における及び環境の変化や移行に対する配慮	講義・演習	予:次回のテーマに関するテキスト及び新聞・書籍等で授業内容に関する情報収集を行う。 復:授業内容の重要箇所をまとめ知識・技能を定着しておく。	90
6	テーマ:乳児保育における計画の実際(田中沙織) 長期的・短期的な指導計画	講義・演習	予:次回のテーマに関するテキスト及び新聞・書籍等で授業内容に関する情報収集を行う。 復:授業内容の重要箇所をまとめ知識・技能を定着しておく。	90
7	テーマ:乳児保育における計画の実際(田中沙織) 個別的・集団の指導計画	講義・演習	予:次回のテーマに関するテキスト及び新聞・書籍等で授業内容に関する情報収集を行う。 復:授業内容の重要箇所をまとめ知識・技能を定着しておく。	90
8	テーマ:0・1・2歳児の生活の流れと保育環境(田中沙織) 乳児の養護(観察・環境整備)	講義・演習	予:次回のテーマに関するテキスト及び新聞・書籍等で授業内容に関する情報収集を行う。 復:授業内容の重要箇所をまとめ知識・技能を定着しておく。	90

9	テーマ: 発育・発達を踏まえた援助(田中沙織) 乳幼児期の養護(保健活動)	講義・演習	予: 次回のテーマに関するテキスト及び新聞・書籍等で授業内容に関する情報収集を行う。 復: 授業内容の重要箇所をまとめ知識・技能を定着しておく。	90
10	テーマ: 発育・発達を踏まえた援助(田中沙織) 乳児期の清潔・身辺自立	講義・演習	予: 次回のテーマに関するテキスト及び新聞・書籍等で授業内容に関する情報収集を行う。 復: 授業内容の重要箇所をまとめ知識・技能を定着しておく。	90
11	テーマ: 発育・発達を踏まえた援助(田中沙織) 乳幼児の食	講義・演習	予: 次回のテーマに関するテキスト及び新聞・書籍等で授業内容に関する情報収集を行う。 復: 授業内容の重要箇所をまとめ知識・技能を定着しておく。	90
12	テーマ: 乳児保育の遊びを考える(田中沙織) 指導計画及び実践	講義・演習	予: 次回のテーマに関するテキスト及び新聞・書籍等で授業内容に関する情報収集を行う。 復: 授業内容の重要箇所をまとめ知識・技能を定着しておく。	90
13	テーマ: 乳児保育の遊びを考える(田中沙織) 成果物の発表	講義・演習	予: 次回のテーマに関するテキスト及び新聞・書籍等で授業内容に関する情報収集を行う。 復: 授業内容の重要箇所をまとめ知識・技能を定着しておく。	90
14	テーマ: 保護者・地域・保育者・専門機関との連携(田中沙織) それぞれの「連携」を行うことで子どもが安心して快適に過ごせることを理解する	講義	予: 次回のテーマに関するテキスト及び新聞・書籍等で授業内容に関する情報収集を行う。 復: 授業内容の重要箇所をまとめ知識・技能を定着しておく。	90
15	テーマ: これからの乳児保育(田中沙織) まとめ・発表・レポート	講義 テスト	予習: これまでの授業の復讐 復習: 授業内容ごとにノートとプリントを整理する	90
16				
17				
18				
19				
20				

21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	○乳児をとりまく様々な課題に普段から興味関心を持って、情報収集すること。 ○乳児保育Ⅰの授業を振り返り、乳児保育の理論や乳児の発達について思い起こしておく。 ○授業で扱ったテキストの範囲及び配付した資料は、授業後に再度熟読しておくこと。			
テキスト	保育所保育指針 厚生労働省 乳児保育Ⅰで使用した教科書を持参すること			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	授業内容に応じて資料を配布する。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	教科書や専門書以外にも、身近な私たちの生活の中に、この授業内容を理解するヒントがあふれています。授業内容に対し、疑問や意見を持つことで生活の中でアンテナを広げ、そこで得た情報を、授業の中で表現することで学習内容はさらに深まります。 尚、本授業の教科書は乳児保育Ⅰで使用した教科書を使用します。必ず授業に持参するようにしてください。			
達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	期末のレポート 30%、各授業の実技・提出物・課題 40%、発表やプレゼンテーション 30%として配点する。 レポートについては、設問の要求に応じた回答と独自性のある考察が含まれていれば満点とし、適宜減点を行う。 授業の提出物や課題については、求められているスペースに 3/4 回答し授業内容を反映した考察が行われていることを満点の基準とする。			